

『腰椎固定術を受けられた患者さまへ』

腰椎固定術後の症例の一部には、術前の病態と異なった特徴を示す臀部痛を呈する症例があります。予後が良好な一時的な痛みであることがほとんどですが、高度な臀部痛を呈する症例や、痛みの持続期間が長い症例があります。このような臀部痛の原因のひとつとして、仙腸関節障害が存在しますが、本邦及び海外の脊椎外科診療領域においてその診断と治療の方法はまだ確立されておられません。そこで我々は、腰椎固定術後に発症する仙腸関節障害の病態につき検討し、診断、腰椎手術時に採択しうる予防策、仙腸関節障害発症時の治療方法について探索することを目的に研究を進めております。臀部痛が仙腸関節障害であるか否かは、画像所見やブロック注射所見により腰椎由来の神経症状ではないことの確認、画像所見や身体所見より股関節由来の症状でないことの確認、スクリーニングツールである仙腸関節スコアの所見、および仙腸関節ブロック注射に対する所見により診断します。仙腸関節障害の診断がついた症例については、その後の治療経過を観察します。

本研究は、診療録調査だけの研究ですので、患者さんの生命・健康に直接影響を及ぼすことはありません。氏名・生年月・ID番号などの個人情報はすべて匿名化されてから解析されますので、個人情報がもれることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。また、研究対象に該当するか否かにより、実際の診療内容に影響はすることはありませんし、研究にご協力していただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。また、ご協力いただける場合でも謝金等は発生いたしません。このような診療録情報の利用にご承諾いただけない患者さんは、お手数ですが、下記の連絡先にご連絡ください。

令和元年 7 月

連絡先

関東労災病院整形外科脊椎外科

唐司 寿一 整形外科脊椎外科副部長

東川 晶郎 第二整形外科部長

住所: 神奈川県川崎市中原区木月住吉町 1-1

電話: 044-411-3131 Fax: 044-433-3150